

◆◆中国経済経営学会（第7回）情勢分析研究会◆◆

「ポスト・コロナの中国経済のゆくえ」

2022 年秋の党大会を控えて、中国はゼロコロナポリシーを継続しています。3 月の深圳や吉林省、4 月からは 2 か月にわたって経済中心地である上海がロックダウンされました。政府による強い関与によって、今年の経済成長目標である 5.5%が到達できるのかどうか、多くの人々の関心事になっています。

また、他国を見渡せば、すでにポスト・コロナの状況に入ってきています。コロナ禍で人との接触が制限される中、デジタル化の進展はさらに不可避になってくると思われます。

今回の情勢分析研究会では、最近の中国経済に詳しい JETRO 中国北アジア課の宗金建志課長代理より、コロナ対策とそれによる中国経済への影響をお話しいただくとともに、富士通より金 堅敏氏をお招きして、デジタルインフラの進展や DX（デジタルトランスフォーメーション）の動向についてお話を伺い、「ポスト・コロナの中国経済のゆくえ」を考えてみたいと思います。

➤ 日 時：2022 年 9 月 3 日（土）14：00～16：00

➤ 報告者：報告 1 宗 金 建 志 氏

[日本貿易振興機構中国北アジア課課長代理]

「コロナ政策と中国経済～日本企業の事業展開の方向性～」

報告 2 金 堅 敏 氏

[富士通 グローバルマーケティング本部・チーフデジタルエコノミスト]

「中国のデジタルインフラの進展」

➤ 場 所：Zoom にて開催

➤ 事前登録：参加申し込みは[こちら](#)。（〆切 9 月 1 日午後 11 時 55 分まで）

◎参加申し込み

事前登録をしていただいた方に、開催日前日に Zoom のミーティング ID をお送りします。お申し込みをしたにもかかわらず、ミーティング ID が届かない場合は、以下まで連絡をお願いします

連絡先：okamoton@ic.daito.ac.jp

中国経済経営学会 国際交流・情勢分析
情勢分析研究会担当
岡本信広（大東文化大学）・杜進（拓殖大学）